



No 2760

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

有田

担当：松村R広報委員

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テーマ



奉仕の理想車を走らせよう!!

Let's drive your ideal car of the service!!

本日のプログラム

平成27年11月26日 第2761回

- ・外部卓話：野田ちよみ氏
「子どもと共に歩む さくらんぼ」
- ・ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

平成27年12月3日 第2762回

- ・会員卓話：上野山栄作君
「有田の将来 地方創生？」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2760例会）

有田3クラブ合同ガバナー公式訪問
 於）橘家 午後3時～

開催日 平成27年11月19日(木)

点鐘 (中元会長)

ゲストの紹介

(橋爪(誠)有田RC親睦活動委員長)

- ゲスト:辻 秀和 様(2640地区ガバナー)
 岡本 弥生 様(2640地区地区幹事)
 大原 裕 様(2640地区ガバナー補佐)



会長の時間 (中元有田RC会長)

「有田3RCガバナー公式訪問・合同例会」

皆さん、こんにちは。有田ロータリークラブ会長の中元耕一郎です。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、本日は有田3クラブガバナー公式訪問および合同例会です。辻ガバナー、大原ガバナー補佐、岡本地区幹事、ようこそお越し下さいました。また、有田3クラブの会員



の皆様には、昼間の忙しい時間帯の合同例会にご参加を頂き、心より御礼申し上げます。

まず、午後1時半より合同例会に先立ち辻ガバナーとご来訪の2名のゲストを交え、有田3クラブ会長・幹事との懇談会が和やかに行われました。辻ガバナーからいろいろなアドバイスを頂き、われわれ3クラブも今後の活動に活かして行きたいと思ひます。

皆様もご存じのように2640地区は長きに亘り混迷を続けてきました。2640地区のロータリーの樹はまさに枯れかけた状態にあるのかもしれない。ロータリーの樹をしっかりとしたものに育てるためには、水をやり、肥料をやり、土壌を耕すなど、十分な手入れが必要であります。2640地区はこうした手入れが出来ていない状態が長く続いてきました。何が原因でこのような状態になったのか分かりませんが、辻ガバナーを初め、多くの地区の方々の長年の努力の結果、ようやく2640地区のロータリーの樹の手入れを行う準備が整いつつあります。

ロータリーの樹をしっかりと育てるためには、まず栄養のある土壌作りが大切であります。この土壌とは親睦のことです。まずは、われわれ有田3クラブがお互いに親睦を深め、良い土壌を作ろうではありませんか。近隣のクラブ同士が仲良く友情と親睦を深め、そしてその友情と親睦の輪をさらに外側に広めて行けば、地区はきっと安定したものになるでしょう。

本日の有田3クラブ・ガバナー公式訪問、合同例会の後には、ワークショップ形式によるディスカッション、懇親会が開催されます。こういった場で、3クラブの親睦がより一層深まることを心より祈念致します。

最後になりましたが、辻ガバナーにおかれましては、これから2年連続での公式訪問が再び始まるわけです。あえて、この困難な責務を担われましたことに、3クラブ会員一同を代表して感謝の意を表します。今後ともどうぞお体に十分ご自愛くださいますようお願い致します。はなはだ簡単ではございますが、これで会長の時間を終わります。

お越しくございました。本日はよろしく願いいたします。

上野山(捷)君:辻ガバナー様、有田3クラブ合同例会によるこそお越し下さいました。

石垣君:辻ガバナー様、有田3クラブ合同例会によるこそお越し下さいました。

幹事報告

(上野山(栄)有田RC幹事)

- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま188」届く(米山奨学委員長へ)
- 有田経済クラブより「クラブ通信304号」届く(次回後方掲示)
- 他クラブ週報 田辺東RC (次回掲示)
- 例会変更 事務局にて確認ください

ガバナーアドレス



国際ロータリー第2640地区

辻 秀和 ガバナー

出席報告

本日の会員数28名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数17名
 (出席規定免除会員6名)
 70. 83%
 11/5 87. 50%
 MU:なし

会員皆さまのご理解と寛容の精神で、ここまでたどり着きました。改めまして、本日より地区本来のロータリーの第一歩と考えております。決して、後戻りさせてはいけません。常に言動は『四つのテスト』を念頭において行ってゆきたいものです。

私たちはロータリアンです。
 冒頭に、重要なこととして各会員の皆さまにお伝えいたします。

ニコニコ箱の報告

中元君:辻ガバナー、岡本地区幹事、大原ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。本日のガバナー公式訪問、よろしく願い致します。

上野山(栄)君:2640地区辻秀和ガバナー、岡本弥生地区幹事、大原裕ガバナー補佐におかれましては、3クラブ合同公式訪問にお越し頂きありがとうございます。有田3クラブの今後の親睦と協力を考えるよい機会となりますようお祈りします。

橋爪(誠)君:辻ガバナー様、岡本地区幹事様、大原ガバナー補佐様、有田3RC合同例会ご出席ありがとうございます。

岩橋君:辻ガバナー、岡本地区幹事、大原ガバナー補佐、合同例会御出席ありがとうございます。

上野山(英)君:辻ガバナー、本日、公式訪問ご苦労様です。

成川(雅)君:本日、よろしく願いします。

岩本君:辻ガバナー様、ようこそ有田RCへ。ありがとうございます。

脇村君:辻秀和ガバナー、ようこそお越し下さいました。ガバナーアドレスよろしく願いします。

児島君:辻ガバナー、遠路ご苦労様です。有田へようこそ。

松村君:辻ガバナー様、有田3クラブ合同例会によるこそお越し下さいました。

酒井君:辻ガバナー様、有田3クラブ合同例会へようこそ

<RIへの確認事項>

- 1、DGとして本年度1月 サンディエゴ国際協議会の補講が免除。
- 2、この時期での、会長エレクト研修セミナー(PETS)開催不要。
- 3、地区研修・協議会も開催不要。
 ただし、いずれかの会議にて、一度は、ガバナーアドレスが必要。それは、先(10・10)の会長会議で、充当いたしました。

私はDGN、DGE、DGをどうして、機会あるたび皆さまに語りかけてまいりました。その内容は、次の事柄です。

- * 新鋭のロータリアン、経験豊かなロータリアン、多くの皆さまはすでに実践されておられますが、今一度お考えいただきたいと思います。
- * 皆さまご自身が得たロータリーでの体験は「宝物」です。しかし自分だけのものとせず、社会にもっともっと積極的に役立たせよう!!
- * ロータリアンの皆さまは、自身の体験を新世代の若者たちに、機会を設けてもっと具体的に、しかも、わかりやすく伝えよう!!
- * 幾つになっても体力ある限り、新世代と共に汗を流して活動しよう!!

これが、1982年河内長野RCに入会以来、ロータリーで学び、よき仲間と共に実践してきました、変わることのな

い、私のロータリアンとしての信条です。

昨今、日本を取り巻くアジアの情勢を見渡すと、特に中国と韓国のような隣国との関係が、なかなかうまく運びません。良好ではないのです。このような時節こそ、ロータリーの民間組織としての真価が問われます。特に、今年度は、ロータリーの世界大会が韓国・ソウルで開かれます。

近隣諸国との融和のため、両国の捻じれ纏れた関係の解決の糸口を見出すためにもロータリーが、民間組織として更なる友情交換・相互理解を推進し、より緊密な友好関係の構築を目指したいものです。日韓友好関係の深まりは、両国に必ずプラスをもたらします。そしてそれは、東アジアや東南アジアのみならず、世界全体の平和に大きく貢献できます。

よりよい世界を実現するために、会員みなさまの「超私の奉仕」なくしては実現できません。多くの皆さまのお力添えが必要となります。

2015-2016年度の地区テーマに、ロータリーの第1標語「超私の奉仕」を掲げ、今一度原点に戻り、未来に向けて再出発をするためにも、己を捨てて、奉仕活動を推し進めたいものです。

謝辞

(赤田有田南RC会長)

辻ガバナー、大原ガバナー補佐、岡本幹事、本日は大変お忙しい中、有田3クラブ合同例会に出席して頂き有り難うございました。

辻ガバナーには、ガバナーアドレスありがとうございました。混乱を続けていた第2640地区、私も一クラブ員ながら本当にくやしく、さびしく、せつない思いでした。しかし、辻ガバナーが正式に就任され一安心です。やっと地区もスムーズに運営されるものと思います。ガバナーアドレスにありました「超私の奉仕」をモットーとして良好な関係を築き、開かれた地区へとイメージチェンジされ、未来へ向けて地区運営に対処して行くとの事、私達も大いに感銘いたしました。誰にでも誇れるロータリアンとなれるよう私達も頑張ってます。ガバナーの職務もハードでしょうが、健康に留意され、強力なリーダーシップを発揮され2640地区を益々風通しの良い地区となるようよろしくお願い申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

閉会・点鐘

(前有田2000RC会長)



ワークショップ(テーブルディスカッション)

結果報告

参加者: 有田RC14名、有田南RC14名、有田2000RC2名

司会進行: 上野山栄作(有田RC)

テーブル①リーダー: 中元耕一郎(有田)、書記: 松村秀一(有田)、成川雅史(有田)、坊岡進(南)、山下正晃(南)、児島誠一(南)

テーブル②リーダー: 橋爪誠治(有田)、書記: 酒井隆正(有田)、石垣洋介(有田)、松宮功(南)、中平武治(南)、野田知良(南)

テーブル③リーダー: 田井伸幸(南)、書記: 赤田修己(南)、児島良宗(有田)、岩本道弘(有田)、上野山捷身(有田)、畑中一伸(南)

テーブル④リーダー: 岡崎幸範(南)、書記: 柚野としゑ(南)、上野山英樹(有田)、井上修平(有田)、星田邦弘(南)

テーブル⑤リーダー: 前任(2000)、寺村公博(2000)、岩橋行伸(有田)、脇村重徳(有田)、垣内欣久(南)、長崎靖彦(南)

<結果報告>

提出議題 I (有田RC)

「3クラブ合同で比較的規模の大きな奉仕プロジェクトを実施するとすれば、具体的にどのようなプロジェクトか？」

テーブル①

- ・3クラブ合同の奉仕プロジェクトは不可能ではないか。できるとすれば有田川の清掃か。
- ・トイレを清掃するのではなく、トイレを汚さない教育をするのがロータリアンである。
- ・会員が高齢化し、体を使う活動がしにくくなった。体を使う活動より講演会を開くのが良い。
- ・避難標識を付ける活動などが無難。
- ・いきなり3クラブが一緒に何かをするのは困難で、本日の3クラブ合同例会のような会合で親睦を計ることで、徐々に合同奉仕プロジェクトができるようになるのでは。
- ・IMが復活すればより多くの会員が集まり、合同での奉仕プロジェクトが実施できる可能性が高まる。

テーブル②

- ・まずは、3クラブ合同の親睦を図ることの重要性をメンバーで認識し合えた。
- ・例会出席が重要のように、3クラブのメンバー同士が会う機会を増やすことは大切である。
- ・各クラブ間のメイクアップが減った。(各メンバーが理事だったり、出席規定免除者になる方が多くなった)...
- ・親睦を図るには、メンバーの家族にも参加できる企画が出来れば3クラブの距離は更に縮まらと思う。そして奉仕プロジェクト等の具体的活動に自然と入っていくのが理想である。奉仕プロジェクト有きより、親睦から芽生えてくる奉仕の案を拾い出せるような関係構築が

必要である。(土壌作りが大事)

- ・これまでは、単独クラブで海岸の掃除や有田川の掃除を行ってきた。同じ清掃でも、バーベキューやビーチバレーを組み込むと大勢集まって大がかりなことができる。

テーブル③

- ・3クラブ合同での奉仕は金銭面・地域的にも無理ではないか。
- ・発展途上国への学校等の建設を3クラブ合同でできないか。
- ・子育て支援の輪。親守り詩の運動(短歌)ーロータリーが支援の輪を作れないか。
- ・合同例会の開催(毎年)

テーブル④

- ・会員の高齢化により、危険な奉仕とか体を使う奉仕活動は無理になってきている。
- ・有田南の場合には“ブックスタート”という奉仕活動を行っている。
- ・行政の手の届かないところの奉仕活動を行うことが理想的である。
- ・地元の中学校の要望を聞いて、奉仕授業を行う。(職業的奉仕)
- ・3クラブであれば、高校生の海外交換留生活動ができるのでは。

テーブル⑤

- ・格差社会になってきている上で、強きが弱きを助けることが重要。
- ・青少年の犯罪防止のため、監視カメラを寄付し町を明るくする。
- ・青少年発明クラブ対しての寄付。ただ、お金を出すのではなく、共に親睦を計る。
- ・過去には、有田RCと有田2000RCとでネパールに医療機器を送る活動を実施した。WCS的なプロジェクトをするべきでは。
- ・規模の大きなプロジェクトは、以前のWCSの様に、国際奉仕を主とした事業で、各クラブから担当者を出して協議し、出来れば現地のRCと協力して、補助金を活用し行えば良いのではないか。
- ・地域への奉仕プロジェクトは単一クラブで可能であるが、規模が大きくなれば、他クラブへの応援を依頼すれば良いのでは。

提出議題Ⅱ(有田南RC)

「親睦について」

テーブル①

- ・親睦が深まれば、出席率も良くなり、退会防止にも役立つ。
- ・有田南RC『家族旅行(日帰り)、家庭集会、クリスマス例会、新年例会、ゴルフ同好会(6回/年)、園芸同好会、映画鑑賞、カラオケ、友好クラブ(韓国)との周年事業、米山奨学生の母国への旅行(マレーシア)』

- ・有田RC『家族旅行、ゴルフ等の他、奉仕プロジェクトが親睦を深める。花見例会、月見例会の実施。タブレット、スマートフォンなどの講習会を開き、楽しみながらITの勉強をする。最近では女子会(会員の奥様方)が開かれるようになり、ロータリーファミリーの親睦も深まっている。』

テーブル②

- ・各クラブともクラブ内の親睦は、有意義なプログラムがあり実行されている。しかしながら、メンバーの減少・高齢化に伴い同好会の運営が厳しくなりつつある。こういった問題を解決するには、もう一步踏み込んだ3クラブの連携が必要になってくるかもしれない。
- ・いろんな種類のイベントを実施しようとしても、人数が多くなると盛り上がらない。
- ・Eクラブがメイクアップという出会いの場を阻害している。地区の混乱も良くない。
- ・まずは、知り合いになる。そこから親睦が始まる。
- ・女性が入ることも大事。女性が入ることで、親睦の幅が広がる。

テーブル③

- ・親睦は会員増強、退会防止にも重要なこと。
- ・具体的内容はテーブル①の記載内容とほぼ同じ。

テーブル④

- ・具体的内容はテーブル①の記載内容とほぼ同じ。

テーブル⑤

- ・有田2000RCでは一泊旅行をしている。
- ・その他の具体的内容はテーブル①の記載内容とほぼ同じ。

提出議題Ⅲ(有田2000RC)

「会員増強と退会防止について」

テーブル①

- ・熱心に、強引に。
- ・候補者の人には、時々週報を持って行き、ロータリーの素晴らしい活動を知ってもらう。
- ・IDMの場で、候補者を挙げたりする。また、候補者リストを作る。
- ・候補者の奥様にもアプローチをする。奥様の理解が重要。
- ・人脈が重要。
- ・女性会員を増やす。
- ・退会防止には、誠意を持って説得する。例会に出席できない人にも、会員に留まってもらうため、最低限の会費負担で済むように理事会に諮る。

テーブル②

- ・クラブ運営・継続には一番大事な問題である。よって各メンバー個人・個人が、会員増強の意識を高める必要がある。
- ・地区問題も落ち着きつつあるので、メンバー増強に力

- を入れていきたい。
- ・JCとのパイプを太くしないと会員状況が厳しくなる。
 - ・会費や毎週の寄付など、経済的負担が多くないか。景気も良くないので見直しも必要ではないか。
 - ・衛星クラブを作って安い会費で若い人を集めたらどうか？3クラブ合同の衛星クラブに入る。(いずれは親クラブに入るイメージ)

テーブル③

- ・有田RCは今年度4名増強。
- ・二世の入会が少ない。
- ・女性会員の勧奨
- ・人情で入会を勧める
- ・勧奨の為のツール作成。

テーブル④

- ・人口が減少し、入会して欲しい対象者が減っている。
- ・個人商店がだめになってきている。
- ・若い人が難しい事に付いて行けない。
- ・有田南71歳、有田65歳と平均年齢が高くなっている。
- ・女性会員を増やす。現在、有田南1名、有田2名が在籍。

テーブル⑤

- ・クラブ運営、退会防止に重きをおくと、籠が緩んでしまう。
- ・田舎には人材が少ない。女性社長も少ない。
- ・地域的な要因等により、人材不足は否めない。
- ・会長・幹事が頑張らないといけない。
- ・将来的には3クラブを2つに統合することも必要。
- ・安易な人数を増強するのは危険。人的な質を高める術を各クラブで確立しなければ、クラブ自体の力が低下する可能性あり。人格(質)が向上すれば退会防止になるのでは。

ワークショップ終了後、懇親会 ～懇親会の様子～

